

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	パーキンソン病患者剖検脳における Lewy 小体構成タンパク質の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>本研究の対象者は、2001 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、新潟大学脳研究所病理学にて病理解剖に文書で同意し、病理解剖にご協力いただいた方です。この中で、パーキンソン病と病理学的に診断された方 6～10 症例を対象とします。</p>
③概要	<p>本研究では、すでに採取された患者さんの脳標本の一部を新潟大学脳研究所から東京科学大学に提供します。東京科学大学でパーキンソン病において神経細胞内に形成される Lewy 小体の主要構成成分である α-シヌクレインの不溶性凝集体を抽出・精製し、その中に含まれる α-シヌクレイン以外の構成タンパク質を解析します。研究対象者は死者であり、病理解剖で採取された組織標本の研究利用に対してご遺族から同意を得ている方になります。研究対象となる方は本研究に対していつでも拒否する機会があり、拒否しても不利益が生じることはありません。</p>
④申請番号	C2025-0090
⑤研究の目的・意義	<p>本研究では、すでに採取された神経変性疾患のヒト病理サンプルを用い、生化学的分析を行います。これにより、パーキンソン病患者の脳内に特徴的に現れる Lewy 小体の構成タンパク質を分析することで Lewy 小体の形成機構を解析することを目的としています。本研究によりパーキンソン病の新たな治療標的を見出すことができる可能性があります。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>新潟大学脳研究所より脳標本の一部を東京科学大学生命理工学院に提供し、そこで解析を行います。また、東京科学大学における解析結果を新潟大学と共有します。この際、個人情報との対照表は新潟大学脳研究所において鍵のかかる場所において書面で適切に管理されます。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>本研究において用いる試料は、病理解剖において提供済みの脳標本の一部です。個人情報（生年月日・氏名・患者番号など）は新潟大学脳研究所において管理され、東京科学大学においては参照されません。</p>
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学脳研究所および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野</p> <p>研究責任者：教授 他田 真理</p> <p>共同研究機関：東京科学大学生命理工学院</p> <p>研究責任者：教授 一瀬 宏</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野</p> <p>教授 他田 真理</p>

⑪お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野</p> <p>氏名：他田 真理</p> <p>Tel：025-227-0636</p> <p>E-mail：tadamari@bri.niigata-u.ac.jp</p>
----------	---